
ExtraView アップグレード・ガイド (Windows 用)

2008 年 2 月



改定履歴

Rev.	Date	Modification
[N]	2008-2-12	ExtraView5.2.2 向け ExtraView アップグレード・ガイド作成
[1]		
[2]		

目次

1. はじめに	3
2. 準備	4
インストール関連ファイルのダウンロード	4
ExtraView.zip の展開	5
アップグレード対象の ExtraView を停止	5
アップグレード対象の ExtraView データベースのバックアップ	6
アップグレード対象の ExtraView アプリケーションのバックアップ	6
3. ExtraView ソフトウェアのセットアップ	8
ExtraView 本体のセットアップ	8
httpd.conf (Apache の設定ファイル) の設定	9
configuration.properties (Tomcat の設定ファイル) の設定	10
Tomcat の起動パラメータ設定	11
BatchMail のセットアップ	12
4. ExtraView データベースのアップグレード	13
データベースアップグレードパッチの実行	13
ExtraView ライセンスの設定	20
ExtraView を再起動	23
ルールの更新	24
5. 付録	27
ExtraView 環境のバックアップ	27
ExtraView 環境のリストア	29

1. はじめに

このガイドでは、Windows プラットフォームにインストールされている ExtraView のアップグレード方法について説明します。

本文中に出現する Apache、Apache Tomcat (以下、Tomcat)、Perl、Java などの周辺アプリケーションは、適宜インストールされているものとします。

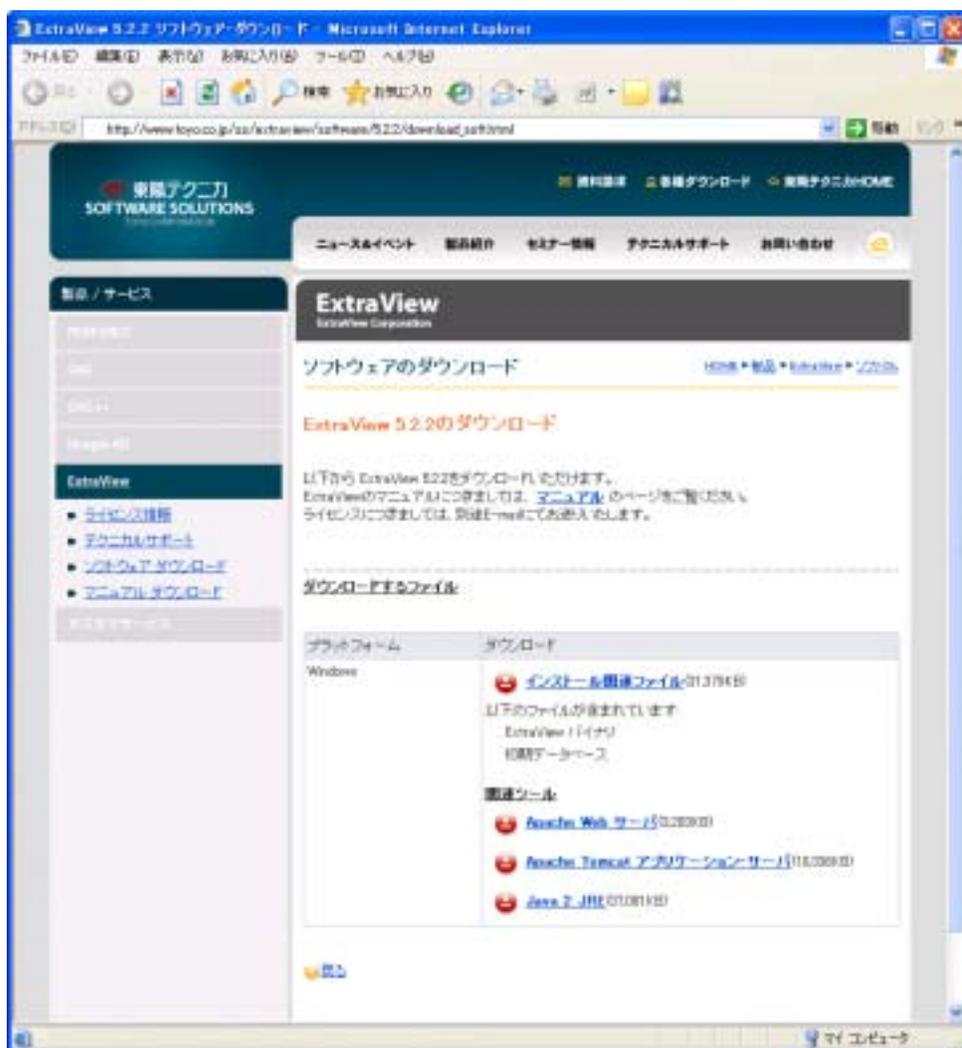
本文中、操作の説明やコマンドラインの実行例を示している箇所において、**Bold** で記述している部分は実際に開発者が入力する文字列を表します。また、*Italic* になっている部分は、実際にコマンドを入力するとき、必要に応じて適当な文字列に置き換えることを表します。

このガイドについてご不明な点などがございましたら、どうぞ遠慮なく、東陽テクニカのテクニカル・サポート (ss_support@toyo.co.jp) 宛にお問い合わせください。

2. 準備

インストール関連ファイルのダウンロード

東陽テクニカのホームページ (<http://www.toyo.co.jp/ss/extraview/>) から「インストール関連ファイル (ExtraView.zip)」をダウンロードします。アクセスするためのユーザ名/パスワードをご存じでない場合は、東陽テクニカのテクニカル・サポート (ss_support@toyo.co.jp) までお問い合わせください。



また、東陽テクニカが提供する ExtraView の CD-ROM をお持ちの場合は、それをお使いいただくこともできます。

ExtraView.zip の展開

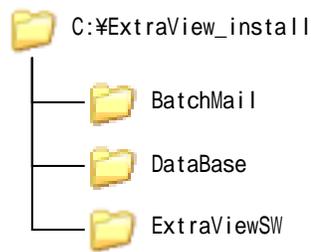
ここでは、ExtraView を C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0 配下にインストールするものとして説明します。C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0 は、Tomcat をインストールしたディレクトリを想定しています。Tomcat のインストールに関しましては、「ExtraView インストール / 構成ガイド」をご参照ください。

同様に、Apache については C:\¥ExtraView¥Apache2 ディレクトリにインストールしたと想定していません。Apache のインストールに関しましては、「ExtraView インストール / 構成ガイド」をご参照ください。

インストール場所がこのガイドに記載されているディレクトリと異なる場合は、実際のインストール場所に置き換えて説明をお読みください。特別な理由がなければ、本書と同じ場所にインストールすることによって、セットアップ時の余計なトラブル（例えば、Apache や Tomcat の設定ファイルやバッチファイルは、ファイルパス中の空白文字を認識できない場合があります）を避けることができます。

以降の手順に進む前に、ダウンロードした ExtraView.zip を適当なディレクトリ（例えば、C:\¥ExtraView_install）に保存し、zip 形式を展開しておきます。展開した結果、次のようになります。

ここで示す C:\¥ExtraView_install ディレクトリは、単なる zip ファイルの展開場所であり、ExtraView のインストール先ではありません。ご注意ください。



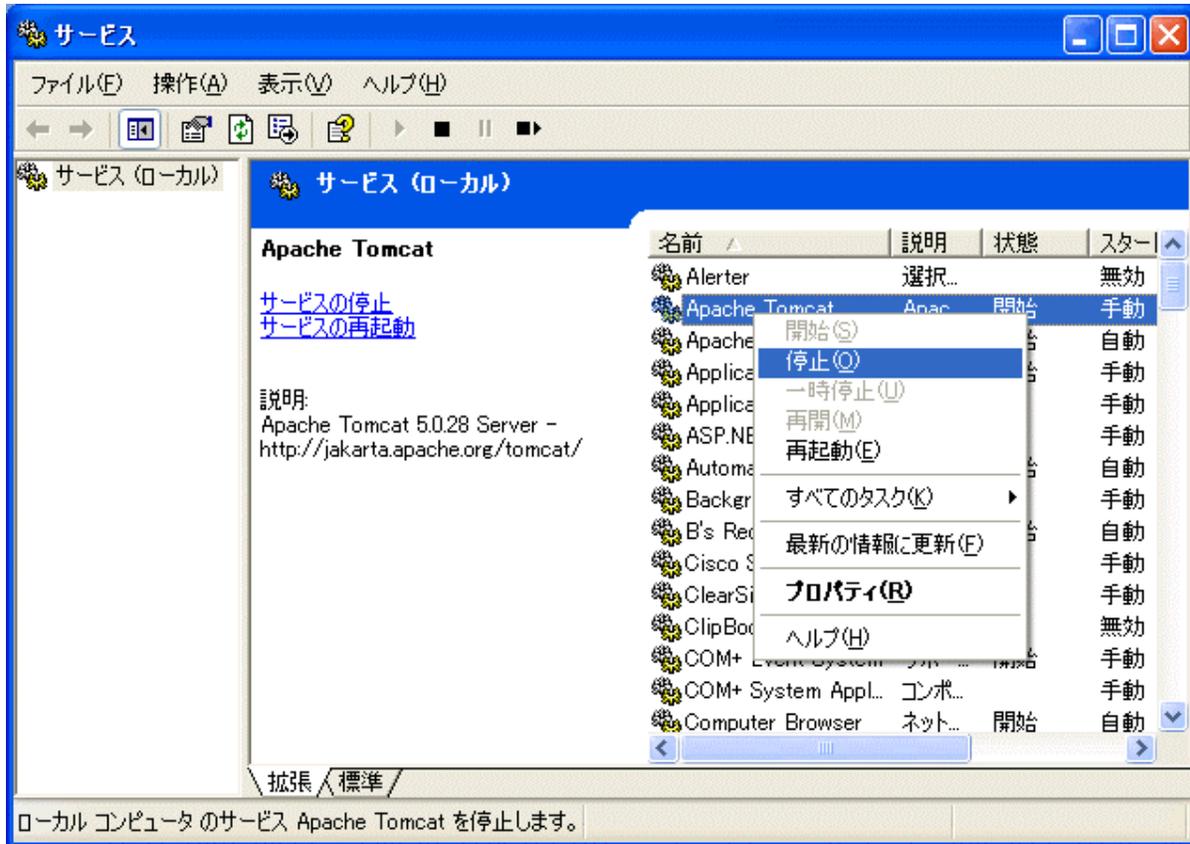
なお、東陽テクニカが提供する CD-ROM のドライブ・ルートには、ExtraView.zip がすでに展開された形で格納されております。つまり、上に示した 3 つのディレクトリ BatchMail、DataBase、ExtraViewSW が、CD-ROM のドライブ・ルート直下に存在しています。

アップグレード対象の ExtraView を停止

これからアップグレードを行う対象の ExtraView アプリケーションを停止します。

Windows サービスメニューの Tomcat を停止します。（既に停止している場合は必要ありません。）

実行例を以下に示します。



アップグレード対象の ExtraView データベースのバックアップ

アップグレード失敗時に、アップグレード前の状態に確実に戻れるようにするために、これからアップグレードを行う対象の ExtraView データベースをバックアップします。

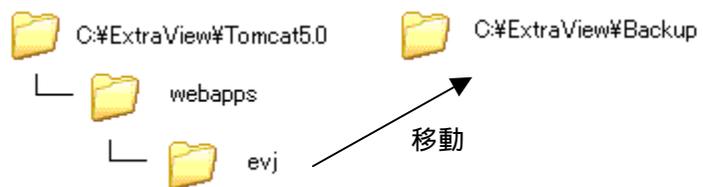
5. 付録を参考にして、データベースのダンプファイルを出力します。このダンプファイルをインポートすることで、アップグレード前の状態のデータベースが構築できます。

アップグレード対象の ExtraView アプリケーションのバックアップ

アップグレード失敗時に、アップグレード前の状態に確実に戻れるようにするために、これからアップグレードを行う対象の ExtraView アプリケーションをバックアップします。

実行手順：

1. C:\%ExtraView%\Tomcat5.0\webapps ディレクトリ内にある evj ディレクトリを、C:\%ExtraView%\Backup ディレクトリに移動します。



ダンプファイルのインポート後に、移動したファイルを元の位置に戻すことで、アップグレード前の状態の ExtraView が構築できます。

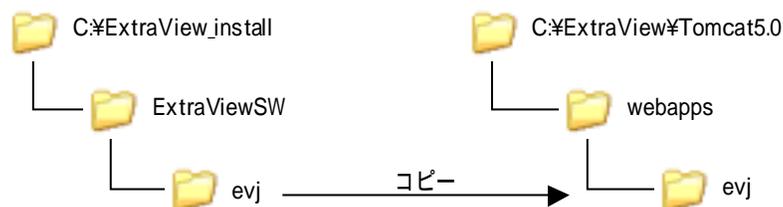
3. ExtraView ソフトウェアのセットアップ

ExtraView 本体のセットアップ

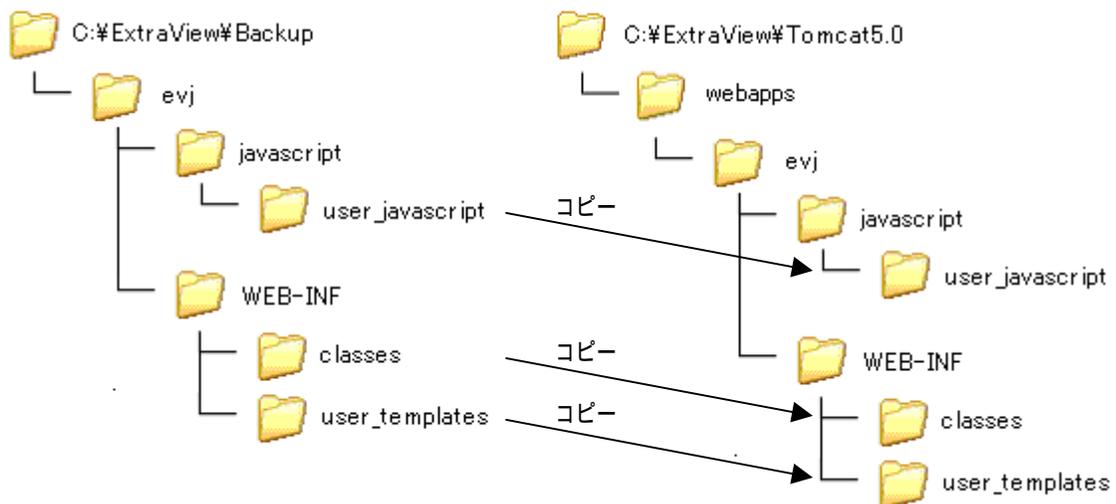
ExtraView 本体のバイナリをセットアップします。この手順については、「ExtraView インストール / 構成ガイド」にも説明が記載されています。

実行手順：

1. C:¥ExtraView_install¥ExtraViewSW の下にある evj ディレクトリを、C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps 直下にコピーします。



2. ExtraView をカスタマイズしてご利用になっている場合（カスタム Java コードやカスタム JavaScript などをご利用になっている場合）は、C:¥ExtraView¥Backup に退避したファイルのうち、user_javascript、classes、user_templates ディレクトリ内に配置されているものを、C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps 内の対応するディレクトリ配下にコピーします（この他にも追加しているファイルがあればコピーします）。



カスタム Java コードはコピーしただけでは正しく動作しないことがあります。動作しない場合は、新バージョンの ExtraView のライブラリを用いてコードを再コンパイルしてください。

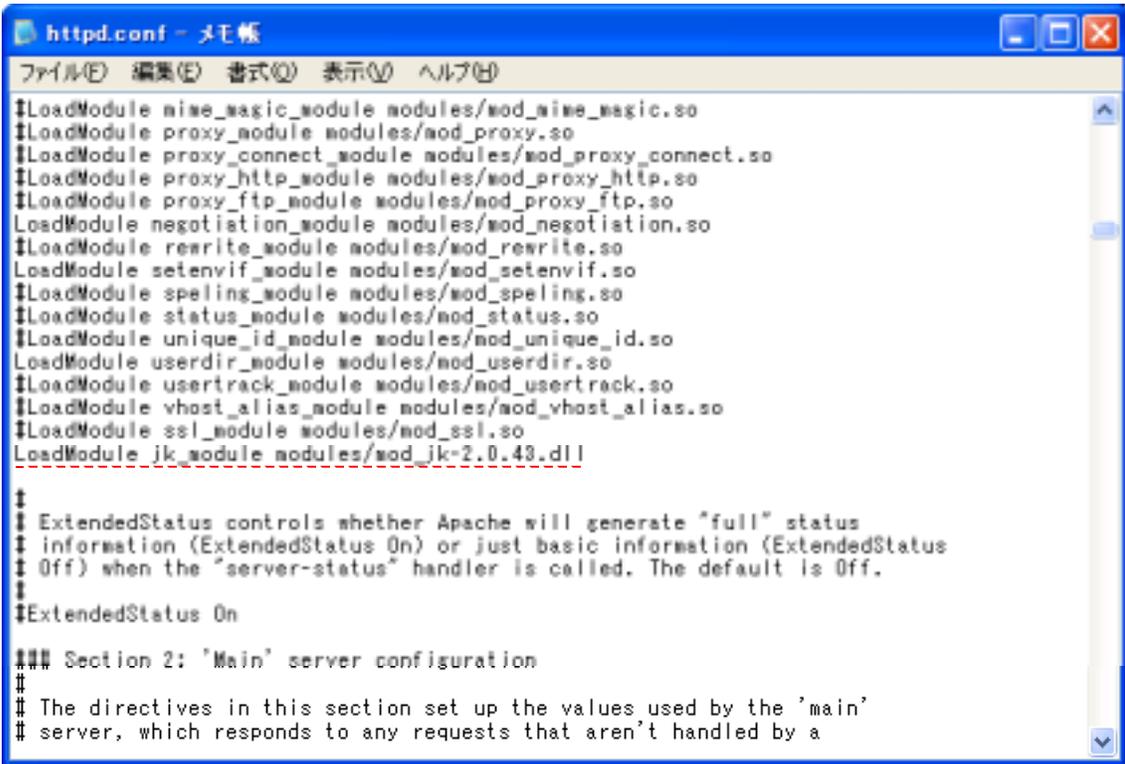
httpd.conf (Apache の設定ファイル) の設定

Apache を C:\ExtraView\Apache2 にインストールしたとすると、このファイルは C:\ExtraView\Apache2\conf ディレクトリ直下に存在します。

このファイルの設定方法については、「ExtraView インストール/構成ガイド」に詳しく記載されています。「Windows オペレーティング・システムへのサポート・ソフトウェアのインストール」の「Apache のインストール」の項をご参照ください。

過去バージョンの ExtraView と同じディレクトリに新バージョンの ExtraView を配置する場合は、httpd.conf の内容を変更する必要はありません。

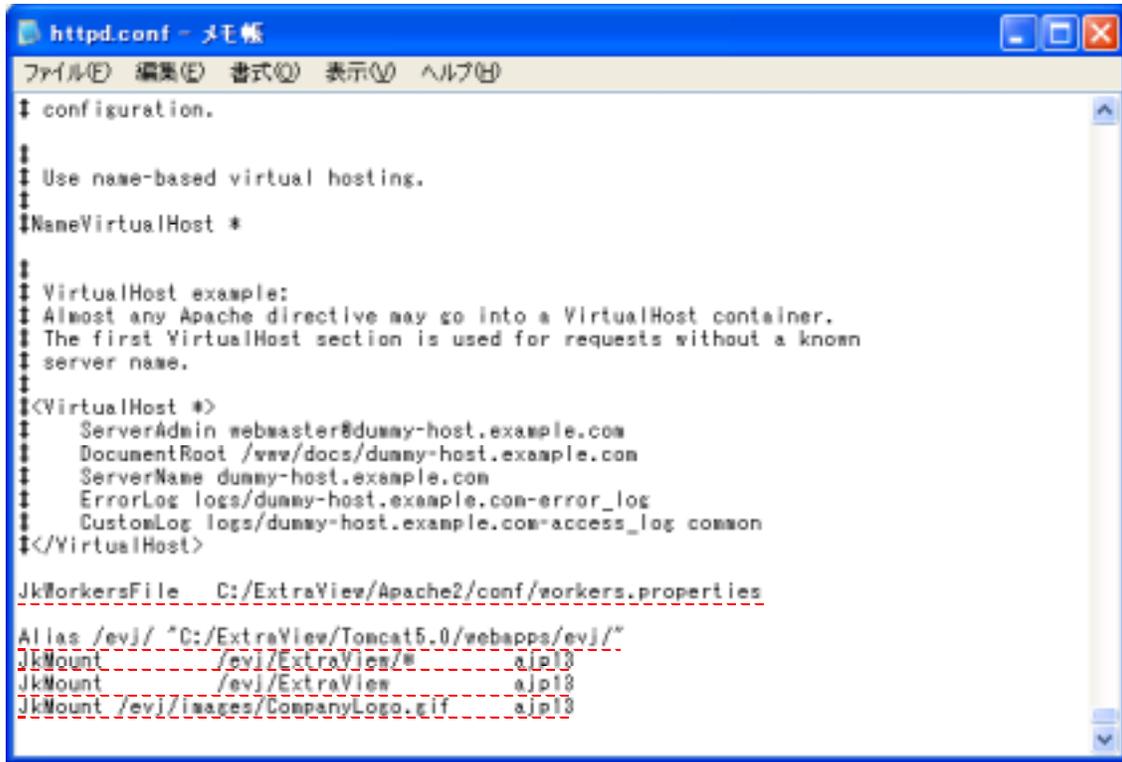
設定例を以下に示します。



```
httpd.conf - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
#LoadModule mime_magic_module modules/mod_mime_magic.so
#LoadModule proxy_module modules/mod_proxy.so
#LoadModule proxy_connect_module modules/mod_proxy_connect.so
#LoadModule proxy_http_module modules/mod_proxy_http.so
#LoadModule proxy_ftp_module modules/mod_proxy_ftp.so
LoadModule negotiation_module modules/mod_negotiation.so
#LoadModule rewrite_module modules/mod_rewrite.so
LoadModule setenvif_module modules/mod_setenvif.so
#LoadModule spelling_module modules/mod_spelling.so
#LoadModule status_module modules/mod_status.so
#LoadModule unique_id_module modules/mod_unique_id.so
LoadModule userdir_module modules/mod_userdir.so
#LoadModule usertrack_module modules/mod_usertrack.so
#LoadModule vhost_alias_module modules/mod_vhost_alias.so
#LoadModule ssl_module modules/mod_ssl.so
LoadModule jk_module modules/mod_jk-2.0.48.dll

#
# ExtendedStatus controls whether Apache will generate "full" status
# information (ExtendedStatus On) or just basic information (ExtendedStatus
# Off) when the "server-status" handler is called. The default is Off.
#
#ExtendedStatus On

### Section 2: 'Main' server configuration
#
# The directives in this section set up the values used by the 'main'
# server, which responds to any requests that aren't handled by a
```



```
httpd.conf - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# configuration.
#
# Use name-based virtual hosting.
#
#NameVirtualHost *
#
# VirtualHost example:
# Almost any Apache directive may go into a VirtualHost container.
# The first VirtualHost section is used for requests without a known
# server name.
#
#<VirtualHost *>
#   ServerAdmin webmaster@dummy-host.example.com
#   DocumentRoot /www/docs/dummy-host.example.com
#   ServerName dummy-host.example.com
#   ErrorLog logs/dummy-host.example.com-error_log
#   CustomLog logs/dummy-host.example.com-access_log common
#</VirtualHost>

JkWorkersFile C:/ExtraView/Apache2/conf/workers.properties

Alias /evj/ "C:/ExtraView/Tomcat5.0/webapps/evj/"
JkMount /evj/ExtraView/* ajp13
JkMount /evj/ExtraView ajp13
JkMount /evj/images/CompanyLogo.gif ajp13
```

configuration.properties (Tomcat の設定ファイル) の設定

このファイルは、C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\configuration 直下に存在します。このファイルの設定方法については、「ExtraView インストール/構成ガイド」に詳しく記載されています。「Windows オペレーティング・システムへのサポート・ソフトウェアのインストール」の「Apache のインストール」の項をご参照ください。

新バージョンになって追加された項目以外は、過去バージョンの情報をそのまま使うことができます。過去バージョンの ExtraView の configuration.properties を参照しながら設定してください。

設定例を以下に示します。

```
Configuration.properties - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# evj production
DB_HOST      = 127.0.0.1
DB_SID       = ev
DB_USER      = extraview
DB_PASSWORD  = extraviewpw
DB_URL       = jdbc:oracle:thin:@(DESCRIPTION=(ADDRESS=(HOST=127.0.0.1)(PROTOCOL=tcp)
(PORT=1521))(CONNECT_DATA=(SID=ev )))
JDBCdriver   = oracle.jdbc.driver.OracleDriver

#DB_URL      = jdbc:inetdae7://db.yourdomain.com: 1433/ev
#JDBCdriver= com.inet.tds.TdsDriver

# Which DBMS interface to use
DBMS_INTERFACE = com.extraview.dbms.oracle.OracleDbms
#DBMS_INTERFACE = com.extraview.dbms.mssql.MssqlDbms

# The error log
LOG_FILE_PATH_NAME = logs/EYJ.log
XML_LOG_FLAG      = FALSE

# Web Application Server Info
WEB_SERVER_NAME = VS_A

# Templates
TEMPLATE_DIR = templates
USER_TEMPLATE_DIR = user_templates
```

- DB_HOST : データベース・サーバの名前、もしくは IP アドレスです。
- DB_SID : データベース識別子 (ここでは ev) です。
- DB_USER : データベース・ユーザの名前 (ここでは extraview) です。
- DB_PASSWORD : DB_USER のパスワード (ここでは extraviewpw) です。
- HOST : DB_HOST と同じです。
- SID : DB_SID と同じです。

Tomcat の起動パラメータ設定

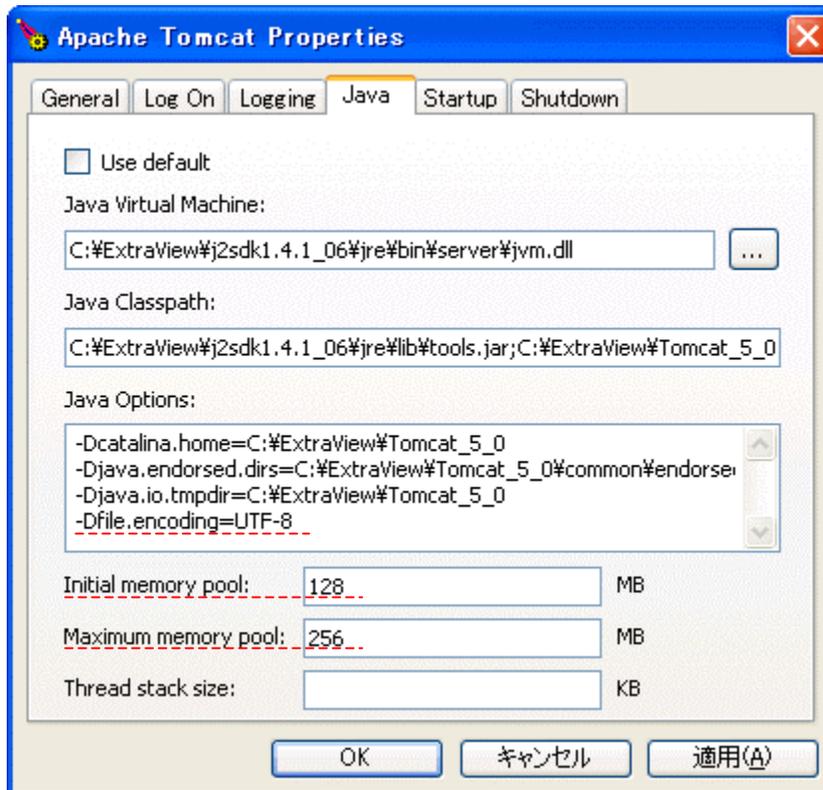
「ExtraView インストール/構成ガイド」では、catalina.bat を編集することによって、Tomcat 起動時のパラメータを設定する手順を説明しています。Tomcat 5.0 では、この設定を行うための GUI が用意されており、これを実行することによってより簡単にパラメータを設定することができます。

過去バージョンのインストール時に設定を済ませている場合は、設定を変更する必要はありません。

実行手順 :

1. [スタート] > [プログラム] > [Apache Tomcat 5.0] > [Configure Tomcat] を実行します。
2. Apache Tomcat Properties が起動しますので、Java タブを開きます。

- Initial memory pool に 128 (MB)、Maximum memory pool に 256 (MB) を設定します。
(「ExtraView インストール/構成ガイド」では、-Xms96m -Xmx512m という記述になっていますが、それぞれ 128、256 と設定することをお勧めします。)
- Java Options の最後の行に、-Dfile.encoding=UTF-8 という記述を追加します。
- OK をクリックします。



BatchMail のセットアップ

ExtraView から電子メールの送信を行うようにするには、BatchMail プログラムをセットアップします。BatchMail をセットアップすることによって、issue の追加、更新を行った際、特定のユーザに対して自動的に電子メールを送信できるようになります。

ExtraView をアップグレードする際は、ExtraView のバージョンに対応する BatchMail を改めてインストールする必要があります。過去バージョンの BatchMail のバックアップを取得した上で、新バージョンをインストールしてください。

BatchMail の具体的なセットアップ手順については、「ExtraView インストール/構成ガイド」をご参照ください。

4. ExtraView データベースのアップグレード

データベースアップグレードパッチの実行

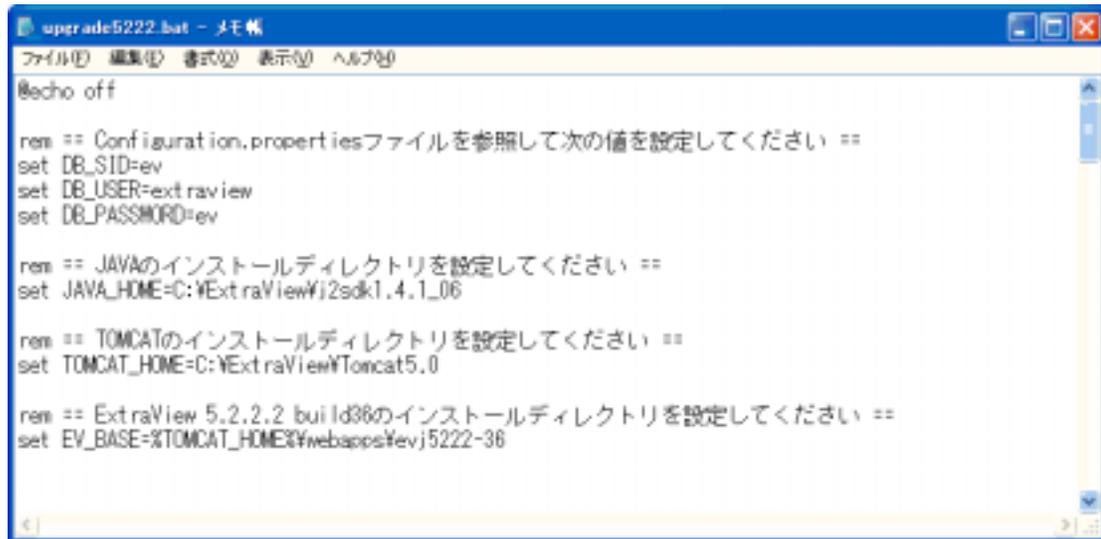
現在使用している ExtraView データベースを、5.2.2 で使用するデータベース構造に適合させるために、データベースパッチを実行します。

実行手順：

1. コマンドプロンプトを開き、Tomcat の evj ディレクトリ以下の data ディレクトリへ移動します。

```
cd C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data
```

2. upgrade5222.bat をエディタで開きます。



```
upgrade5222.bat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
@echo off
rem == Configuration.propertiesファイルを参照して次の値を設定してください ==
set DB_SID=ev
set DB_USER=extraview
set DB_PASSWORD=ev
rem == JAVAのインストールディレクトリを設定してください ==
set JAVA_HOME=C:\¥ExtraView¥jdk1.4.1_06
rem == TOMCATのインストールディレクトリを設定してください ==
set TOMCAT_HOME=C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0
rem == ExtraView 5.2.2.2 build36のインストールディレクトリを設定してください ==
set EV_BASE=%TOMCAT_HOME%\webapps\evj5222-36
```

3. 以下のパラメータをご使用の環境に合わせて編集します。

DB_SID : データベース識別子(Configuration.properties ファイルと一致させる)

DB_USER : データベース・ユーザの名前(Configuration.properties ファイルと一致させる)

DB_PASSWORD: データベース・ユーザのパスワード

これらは Configuration.properties ファイルの値と一致させてください。

JAVA_HOME : Java SDKのインストール・ディレクトリのパス

TOMCAT_HOME : Tomcatのインストール・ディレクトリのパス

EV_BASE : ExtraViewのインストール・ディレクトリのパス

これらは各コンポーネントのインストール場所を参照して設定してください。

4. 次のコマンドを実行します。

```
upgrade5222.bat
```

このコマンドにより、大小7つのSTEPからなる処理が実行されます。

注意:

アップグレード処理は、過去バージョンのExtraViewに、**BSMITH**または**TARON**というユーザIDのユーザが登録されていないことを前提にして動作するようになっています。

これらのユーザが登録されている場合は、東陽テクニカのテクニカル・サポート (ss_support@toyo.co.jp) 宛にご相談ください。

STEP1、STEP2、STEP3、STEP6、STEP7:

これらのSTEPのアクションは自動的に処理されます。

各STEPの実行が完了するごとに、“続行するには何かキーを押してください・・・”というプロンプトが出力されるので、エラーメッセージ等が出力されていないことを確認してから、キーを押してアップグレードを続行してください。

STEP4、STEP5:

これらのSTEPはExtraViewを操作して、手動で実行する必要があります。

STEP4またはSTEP5に到達すると、コンソール上に実行手順が表示され、“続行するには何かキーを押してください・・・”というプロンプトが出力されます。

手順に従ってExtraViewを操作し、手順が終わったら、キーを押してアップグレードを続行してください。

これらのSTEPで使用するファイル (`best5222_messages.xml`) は、`upgrade5222.bat` が配置されているディレクトリ内の `migration` ディレクトリに存在します。

5. STEP7 が終了すれば、アップグレード完了です。

この状態でいったん ExtraView データベースのバックアップを取得してください。

各処理の実行結果例を以下に示します。

upgrade5222.bat実行直後の状態:

コマンドプロンプト
<pre>; ##### ExtraViewのアップグレードを開始します。 ##### アップグレードを開始する前にExtraViewデータベースの ##### バックアップを必ず取得してください。 ##### バックアップを取得していない場合は、このバッチを ##### 強制終了してください。 続行するには何かキーを押してください . . .</pre>

STEP1の実行結果例:

コマンドプロンプト
<pre>cat5.0¥common¥lib¥servlet.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥lib¥common¥servlet.jar;C:¥E xtraView¥Tomcat5.0¥common¥lib¥servlet-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥lib¥servlet -api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥lib¥evj5222-36.jar co m.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 TY_to_english.sql Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥l ogs¥EVJ.log data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data¥dbp atches¥oracle¥TY_to_english.sql C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>rem sqlplus extraview/ev@ ev @migration¥to_english.sql ##### STEP1が完了しました。 C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause 続行するには何かキーを押してください . . .</pre>

STEP2の実行結果例:

```
コマンドプロンプト
cat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥lib¥evj5222-36.jar
com.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 5.2.2_ITEM_TR.sql
Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-
INF¥l
ogs¥EVJ.log
data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-
INF¥data¥dbp
atches¥oracle¥5.2.2_ITEM_TR.sql

C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
##### STEP2が完了しました。

C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

STEP3の実行結果例:

```
コマンドプロンプト
cat5.0¥common¥lib¥servlet.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥lib¥common¥servlet.jar;C:¥E
xtraView¥Tomcat5.0¥common¥lib¥servlet-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥lib¥servlet
-api.jar;C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥lib¥evj5222-36.jar co
m.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 TY_5.2.2.2_sql_2.sql
Attempting to Open Log File: C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥l
ogs¥EVJ.log
data directory path = C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data¥dbp
atches¥oracle¥TY_5.2.2.2_sql_2.sql

C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>rem sqlplus extraview/ev@
ev @migration¥5.2.2.2_sql_2.sql
##### STEP3が完了しました。

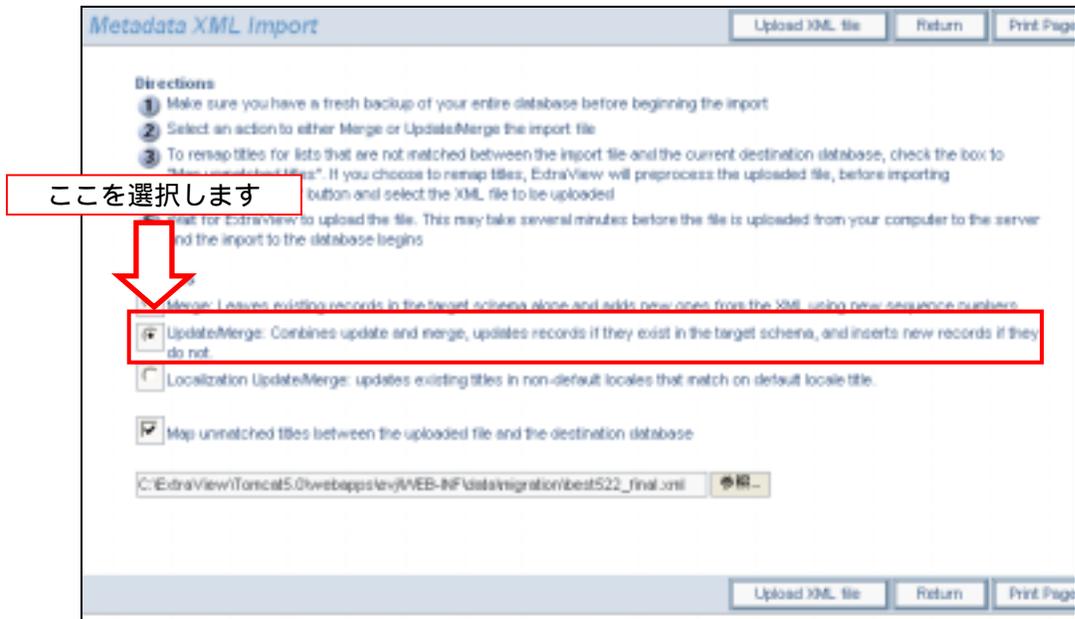
C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

STEP4のプロンプト例:

```
コマンドプロンプト
;
##### STEP4: ExtraViewを起動して翻訳メッセージをインポートしてください。
    1) adminユーザでサインオンしてください。
    2) [ADMIN] - [Import/Export] - [Metadata XML Import]の順で操作してください。
    3) Actions の [Update/Merge] を選択してください。
    4) [参照]ボタンを押して、migration¥best5222_messages.xmlを選択してください。
    5) [Upload XML file]ボタンを押してください。
    6) 進捗バーが現れて結果画面が表示されるまで暫く待ちます。
    7) [Proceed to import uploaded XML file with mappings]ボタンを押してください。
    8) 進捗バーが現れて結果画面が表示されるまで暫く待ちます。
##### 8)が終われば、STEP4の完了です。

C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

STEP4の画面例:

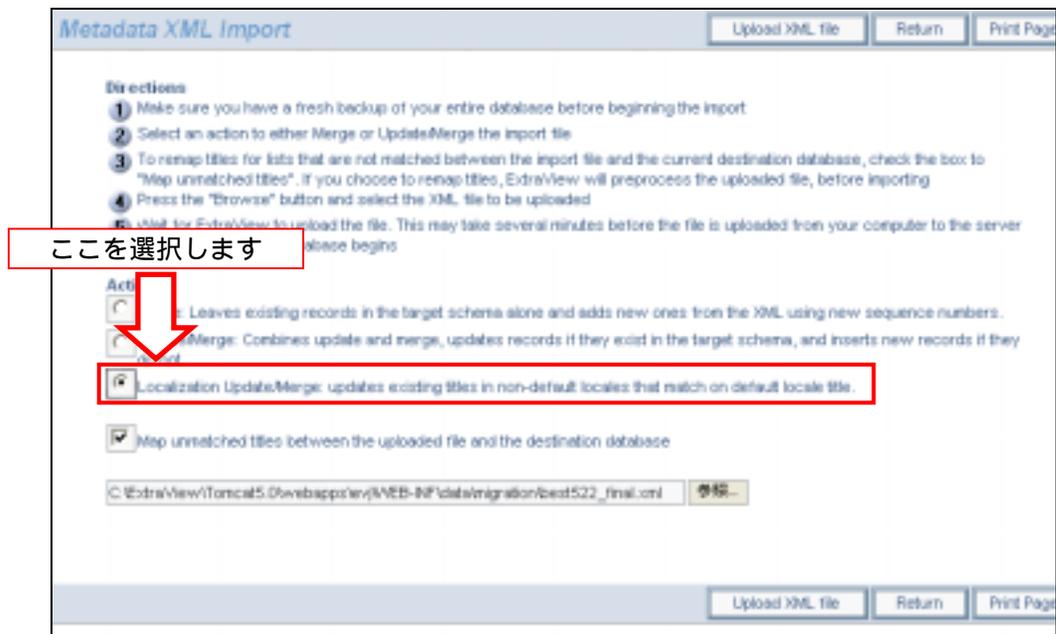


STEP5のプロンプト例:

```
コマンドプロンプト
;
##### STEP5: ExtraViewを起動して翻訳メッセージを再度インポートしてください。
1) adminユーザでサインオンしてください。
2) [ADMIN] - [Import/Export] - [Metadata XML Import]の順で操作してください。
い。
===== 重要 =====
3) Actions の [Localization Update/Merge] を選択してください。
===== 重要 =====
4) [参照]ボタンを押して、migration¥best5222_messages.xmlを選択してください。
い。
5) [Upload XML file]ボタンを押してください。
6) 進捗バーが現れて結果画面が表示されるまで暫く待ちます。
7) [Proceed to import uploaded XML file with mappings]ボタンを押してください。
さい。
8) 進捗バーが現れて結果画面が表示されるまで暫く待ちます。
##### 8)が終われば、STEP5の完了です。#####

C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

STEP5の画面例:



STEP6の実行結果例:

コマンドプロンプト
<pre>ervlet.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\common\lib\servlet- api.jar;C:\ExtraView\Tomcat 5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\lib\evj5222-36.jar com.extraview.test.CleanTitleM ap Cleaning unused title_map rows... Attempting to Open Log File: C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB- INF\data\logs\EVJ.log Finished with cleaning unused title_map rows C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\data>pause 続行するには何かキーを押してください . . . ##### STEP6が完了しました。 C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\data>pause 続行するには何かキーを押してください . . .</pre>

STEP7の実行結果例:

コマンドプロンプト
<pre>cat5.0\common\lib\servlet.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\lib\common\servlet.jar;C:\E xtraView\Tomcat5.0\common\lib\servlet-api.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\lib\servlet -api.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\lib\evj5222-36.jar co m.extraview.util.dbpatches.SQLRunner 6 TY_to_japanese.sql Attempting to Open Log File: C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\l ogs\EVJ.log data directory path = C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\data\dbp atches\oracle\TY_to_japanese.sql C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\data>rem sqlplus extraview/ev@ ev@migration\to_japanese.sql ##### STEP7が完了しました。 C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj5222-36\WEB-INF\data>pause 続行するには何かキーを押してください . . .</pre>

upgrade5222.bat終了直前の状態:

```
コマンドプロンプト
;
##### ExtraViewのアップグレードが完了しました。
##### この状態でいったんExtraViewデータベースの
##### バックアップを取得することをお勧めします。
#####
##### バックアップを取得し終わったら、ExtraViewを
##### 再起動して正しく動作することを確認してください。

C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj5222-36¥WEB-INF¥data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

ExtraView ライセンスの設定

ライセンスの追加等で ExtraView のライセンスを更新する必要がある場合は、次のファイルを使用します。このファイルは、お客様が ExtraView をご購入になってから数日後に、東陽テクニカのテクニカル・サポート (ss_support@toyo.co.jp) がメールでご提供致します。

- license.xml

実行手順:

1. ライセンスファイルを Tomcat の evj ディレクトリ以下の data ディレクトリ (以下 data ディレクトリ) にコピーします。



C:\¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj¥WEB-INF¥data

2. data ディレクトリの中にある installKeyWindows.bat を右クリックし、編集を選択します。メモ帳の画面が表示されます。



3. メモ帳の画面で Java SDK のパス、Tomcat のパス、Tomcat の evj パスと License ファイル名を変更します。

```
installKeyWindows.bat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
REM *****
REM Edit this file to fill in your local
values for  REM JAVA_HOME  REM TOMCAT_HOME  REM EV_BASE  REM LICENSE FILE  REM
REM *****
REM USAGE:  REM installKey.bat
JAVA_HOME TOMCAT_HOME EV_BASE LICENSE)echo off)installKey.bat
C:¥ExtraView¥j2sdk1.4.1_06 C:¥ExtraView¥Tomcat5.0 C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj
license.xml
```

この画面では次のように設定しています。

Java SDKのパス : C:¥ExtraView¥j2sdk1.4.1_06
Tomcatのパス : C:¥ExtraView¥Tomcat5.0
Tomcatのevjのパス : C:¥ExtraView¥Tomcat5.0¥webapps¥evj
Licenseファイル名 : license.xml

4. メモ帳を保存して、終了します。
5. installKeyWindows.bat をダブルクリックして実行します。

実行例を以下に示します。

コマンドプロンプト

```
C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM *****
*****

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM Edit this file to fill in y
our

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM local values for

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM JAVA_HOME

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM      TOMCAT_HOME

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM      EV_BASE

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM LICENSE FILE

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM *****
*****

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM USAGE:

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>REM      installKey.bat JAVA
_HOME TOMCAT_HOME EV_BASE LICENSE

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>echo off

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>C:\ExtraView\j2sdk1.4.1_06\bin\
java -classpath C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\ojdbc14.jar;C:\E
xtraview\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\classes12.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0
\webapps\evj\WEB-INF\lib\SesameUtil.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-
INF\lib\activation.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\mail.jar;
C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\cryptix32.jar;C:\ExtraView\Tomca
t5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\com.microstar.xml.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webap
ps\evj\WEB-INF\lib\Sprinta2000.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\l
ib\Sprinta.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\jtds-1.2.jar;C:\E
xtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\com.mortbay.jetty.jar;C:\ExtraView\T
omcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\com.sun.net.ssl.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\web
apps\evj\WEB-INF\lib\crimson.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib
\domsdk.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\domsdksrc.jar;C:\Ext
raView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\SesameStevessoft.jar;C:\ExtraView\Tomca
t5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\w3cdoml.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB
-INF\lib\xalan.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\lib\xerces.ja
r;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\jaxp.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.
0\webapps\evj\WEB-INF\lib\parser.jar;C:\ExtraView\j2sdk1.4.1_06\lib\tools.jar;C
:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\lib\kcservlet.jar;C:\ExtraView\Tomcat
5.0\common\lib\servlet.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\lib\common\servlet.jar;C:\Ext
raView\Tomcat5.0\common\lib\servlet-api.jar;C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\
WEB-INF\lib\evj5023-63.jar com.ExtraView.util.dbpatches.AppDefaultImport -f lic
```

```
ense.xml
<====entering main method of AppDefaultImport====>
AppDefaultImport constructor
Attempting to Open Log File: C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\logs\EV
J.log
ADI: back from preprocess
ADI: Finished importing data
<====finished AppDefaultImport====>

C:\ExtraView\Tomcat5.0\webapps\evj\WEB-INF\data>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

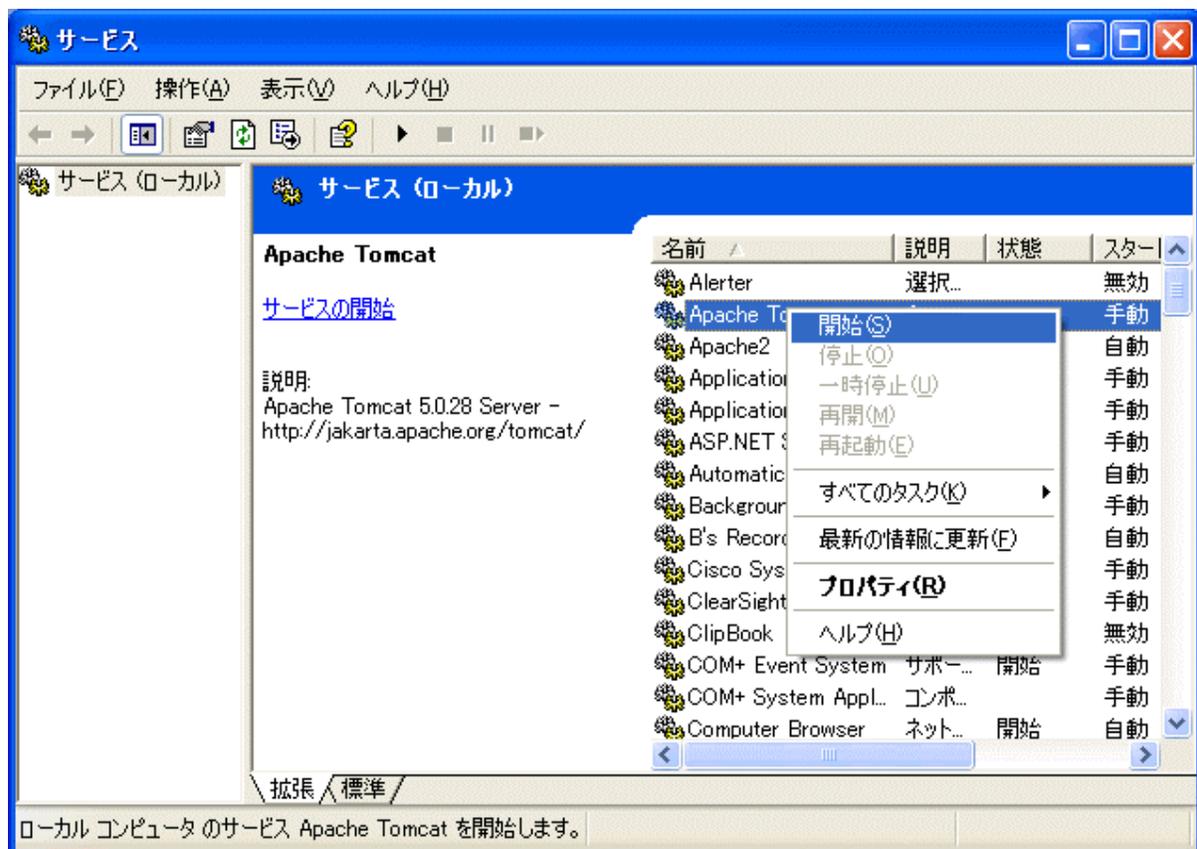
実行すると、ライセンスが設定されます。ライセンスが正しく設定されたかどうかは、ExtraView へのサインオンができるようになった後に、[Administration] > [ユーザ] > [ユーザ・アカウント・メンテナンス] のページで確認することができます。

ExtraView を再起動

アップグレードを行った ExtraView アプリケーションを再起動します。

Windows サービスメニューの Apache と Tomcat を起動します。

実行例を以下に示します。

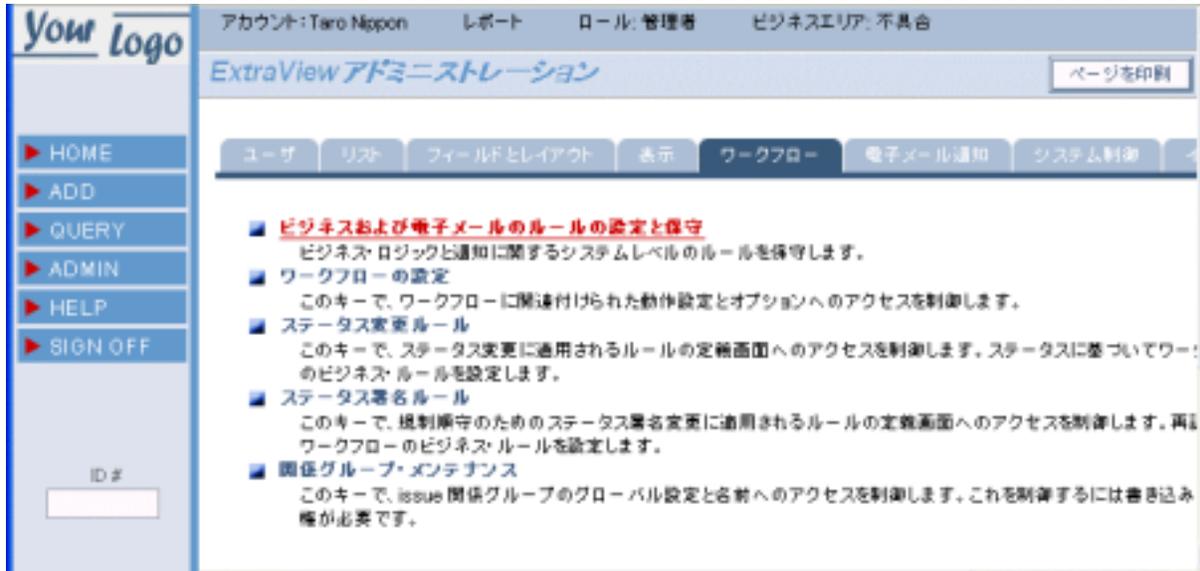


ルールの更新

この作業は、4.3.6 より前のリリースからのアップグレードで、ルール・エンジンを使用している場合にのみ実行する必要があります。4.3.6 以降のバージョンでは、ルールは rules.txt ファイルからデータベースに移動されています。

実行手順：

1. 管理者ユーザとして ExtraView にログインし、[管理] -> [ワークフロー] -> [ビジネスおよび電子メールのルールの設定と保守] に進みます。

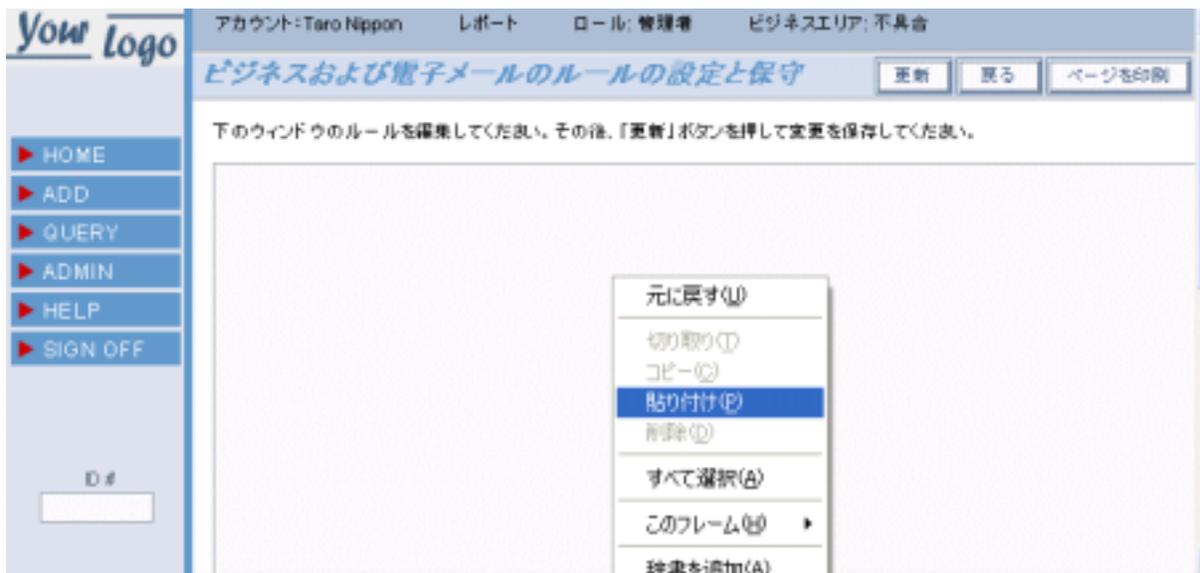


2. バックアップしてある、アップグレード前に使用していたルールファイルをメモ帳で開きます。
ファイルは 2 . 準備で保存したExtraViewアプリケーションのバックアップを使用します。
ファイルパスとファイル名は次のとおりです。

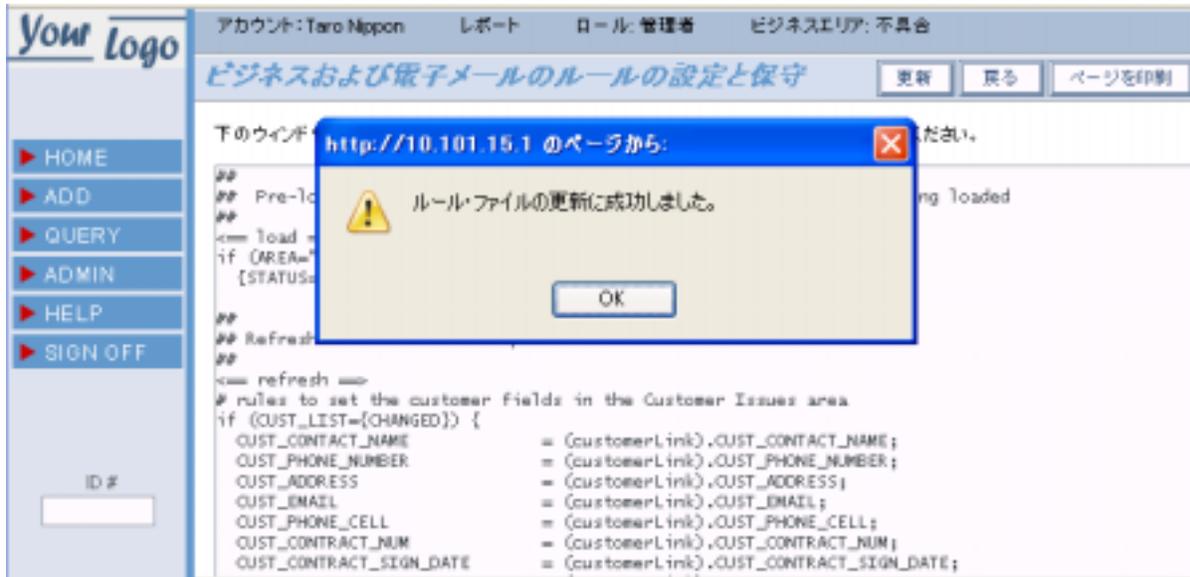
C:\¥ExtraView¥Backup¥evj¥WEB-INF¥configuration¥rules.txt

3. メモ帳のウィンドウの中で、すべて選択してコピーします。
4. 「ビジネスおよび電子メールのルールの設定と保守」を編集します。

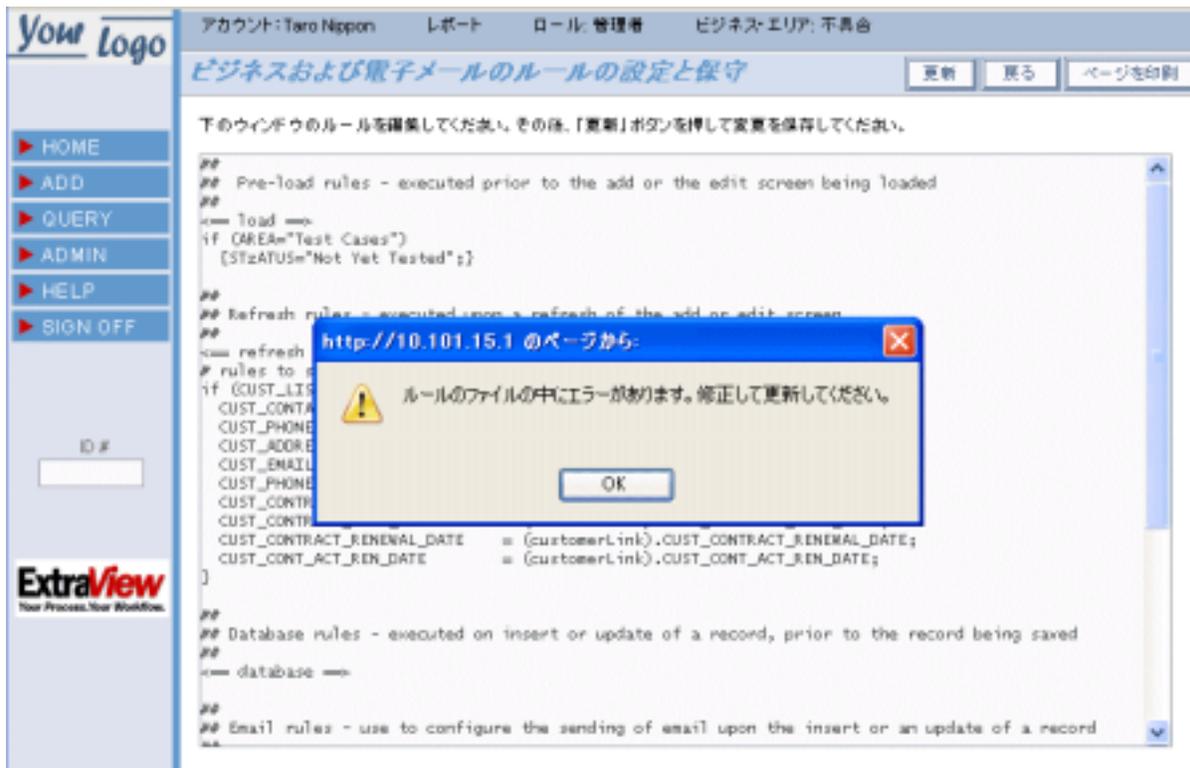
画面の枠の中で、右クリックして貼り付けを選択します。



5. 更新します。
更新ボタンをクリックします。



ルールファイルの記述に問題があると、次のエラー画面が表示され更新ができません。
この場合は、ルールファイルの記述を修正してください。



5. 付録

ExtraView 環境のバックアップ

ExtraView 環境をバックアップするには、Oracle データベースを dmp ファイルへエクスポートし、その dmp ファイルをバックアップします。

実行手順：

1. コマンドプロンプトを開き、バックアップ対象である Oracle 表領域のファイルが存在するディレクトリへ移動します。

```
cd C:\¥ExtraView¥database
```

2. 次のコマンドを実行します。

```
> set NLS_LANG=American_America.UTF8
> exp system/<パスワード>@<SID> file=<ファイル名.dmp> compress=n
consistent=y owner=<所有ユーザ>
```

(コマンドが長いので 2 行になっていますが、実際は 1 つのコマンドです。)

エクスポートする dmp ファイル <ファイル名.dmp> は自由な名前付けで構いませんが、拡張子は dmp としてください。

<所有ユーザ> には、ユーザ名を指定します。この実行例では、extraview となります。

ここでの <パスワード> は、Oracle データベースの system アカウントに対するパスワードです。この Oracle データベースが「新規データベースの作成」において新規作成されたものであれば、その際に設定したパスワードをここで指定します。既存データベースの場合、具体的な <パスワード> が何であるかは、御社の Oracle システム管理者にお問い合わせください。この実行例では、system アカウントのパスワードを systempw としています。

<SID> の部分も、「新規データベースの作成」で設定した SID に置き換えます。既存データベースの場合、具体的な SID が何であるかは、御社の Oracle システム管理者にお問い合わせください。この実行例では、SID を ev としています。

compress および consistent には、固定でそれぞれ n および y を指定します。

コマンドプロンプト

```
C:\¥ExtraView¥database¥v502>set NLS_LANG=American_America.UTF8

C:\¥ExtraView¥database¥v502>exp system/systempw@ev file=test502.dmp compress=n
consistent=y owner=extraview

Export: Release 9.2.0.1.0 - Production on Tue May 30 09:40:08 2006

Copyright (c) 1982, 2002, Oracle Corporation. All rights reserved.

Connected to: Oracle9i Enterprise Edition Release 9.2.0.1.0 - Production
With the OLAP and Oracle Data Mining options
JServer Release 9.2.0.1.0 - Production
Export done in UTF8 character set and UTF8 NCHAR character set

About to export specified users ...
. exporting pre-schema procedural objects and actions
. exporting foreign function library names for user EXTRAVIEW
. exporting PUBLIC type synonyms
. exporting private type synonyms
. exporting object type definitions for user EXTRAVIEW
About to export EXTRAVIEW's objects ...
. exporting database links
. exporting sequence numbers
. exporting cluster definitions
. about to export EXTRAVIEW's tables via Conventional Path ...
. . exporting table          ALLOWED_FUNCTIONS          590 rows exported
. . exporting table          ALLOWED_LOCALE              2 rows exported
. . exporting table          ALLOWED_VALUES              0 rows exported
. . exporting table          ALLOWED_VALUE_TYPE          0 rows exported

...
...

. . exporting table          USER_GLOBAL                49 rows exported
. . exporting table          USER_SESSION                1 rows exported
. exporting synonyms
. exporting views
. exporting stored procedures
. exporting operators
. exporting referential integrity constraints
. exporting triggers
. exporting indextypes
. exporting bitmap, functional and extensible indexes
. exporting posttables actions
. exporting materialized views
. exporting snapshot logs
. exporting job queues
. exporting refresh groups and children
. exporting dimensions
. exporting post-schema procedural objects and actions
. exporting statistics
Export terminated successfully without warnings.
```

実行すると、いくつかの「exporting xxxxxx」というメッセージが、コマンドプロンプトに出力されます。

正常終了した場合、最後に「Export terminated successfully without warnings.」というメッセージが表示されます。

3. 通常のバックアップ手順にしたがって、エクスポートした dmp ファイルをバックアップします。

ExtraView 環境のリストア

ExtraView 環境をリストアするには、バックアップした dmp ファイルを Oracle データベースヘインポートします。

実際の手順は、ExtraView セットアップ・ガイドの「新規データベースの作成」「Oracle 表領域の作成」「Oracle ユーザ（スキーマ）の作成」「best_data のインポート」をご参照ください。ExtraView セットアップ・ガイドの「best_data のインポート」で示した手順の中の dmp ファイル名を、バックアップした dmp ファイル名に置き換えることによって、ExtraView 環境のリストアを実行することができます。